



# ふるさと



2023年 7月272号

## グループホームあじさい園

竹中功さんはニュースタークリエーション、よしもとNSC、あの有名なお笑いの学校を作られた方です。1980年漫才ブームとなり、大阪の漫才が東京でつけ、本拠地大阪の芸人不足となり、学校を作ることに、竹中さんは、よしもと入社半年目、22歳の時、担当になりました。それまで芸人さんは、弟子として師匠の家で寝食を共に学んでいきましたが、時代にそぐわず、学校で授業料を払って、指導をおおぐこととなり、NSCが設立、1期生には、ダウンタウン、トミーズ、ハイヒールさんがおられます。竹中さんのお話で印象に残ったのは「だれもが一番になれる」「コミュニケーションとは良き人間関係の構築」です。

ナンバードンにならなくてもいい、もともと特別なオンラインワンド、他とは違うという意味での一番、その違いは個性と魅力であり、その個性と魅力を磨いていこうと。同じお土産を売るA店とB店、なぜかB店がよく売れます。B店のC店員さんは、お客様に地域の、お役立ち情報を教えてくれて、その上人なつくく楽しい人するとお客様は、Cさんに気持ち向きが向いて「おばさん、ありがとうございます」とお土産を買って帰られるそうです。

また、売れ続ける、明石家さんまさんとダウンタウンさんのことについては、時に「今日はつけなかつたね」と正直に伝えるときも「新しいネタ考えます」と自分を認め、自分の責任と考え、変わる事ができる人です、と言われていました。

それをそばで見ている「変わる事が生きる力」「変わることに平気な人は最強だ」とオンラインワンを感じるそうです。

「コミュニケーションについては、言葉のキャッチボールからはじまり、心のキャッチボール、良き人間関係を構築、相手をおもんばかりながら、楽しくゆかいに、それぞれの想いや願い、精神さえも交換、共感力を育み、いっしょにいて楽しいと笑顔の伴う感情を大切にしましょう、と。とは言え、相手の印象を決めるのに、要する時間は0.1秒、目線、口元、首、手、身体の動きを見て感じます。0.1秒で感じておられる、目の前の人に私たちは、いかにして笑顔と安心をお届けできるでしょう。

近年はコミュニケーション力を重視されてきましたが、ここ数年は、「コミュニケーションをとりすぎに、働きたいという人もあります。時代の流れで否定はできませんが、本来の意味での、「コミュニケーション力を磨く大切さを、あらためて学びました。そして竹中さんは、入社すべの大役にとまどいはした「なんでも、やってみよう」とチャレンジしたことは幸運だったとも、ふりかえっておられます。

### 7月の行事予定

- 7日(金)七夕まつり
  - 11日(火)運営推進会議(書面)
  - 13日(木)コロナワクチン接種
  - 16日(日)食事会/18日(火)誕生日会
- ※塩田医師の定期往診もあります。

あじさい園のホームページもご覧ください。

いつもあじさい園の運営にご支援ご協力をいただき、ありがとうございます。

### 食事会 牛丼



今回の牛丼にはグループの畑で採れた玉ねぎを使用しました。いざ食べ始めるとあまりの柔らかさに「玉ねぎも牛肉も溶けてなくなるわあ！」と大喜びのご様子でペロリと完食して下さいました。



### コンビニまでおやつ買い出し

### おやつにたこ焼きパーティー



おやつ時間にたこ焼きパーティーを開催しました。出来立てほやほやのたこ焼きを口へ運ぶと、「熱いけど美味しいから何個でもイケるわ！」とご満悦♪「夕食もたこ焼きでも良いヨ」と冗談と笑い声が飛び交う中、大盛況で幕を下ろしました。

